

メーカーに全部頼むお金はないけれど、フルハンドメイドもしんどすぎる——とお考えのあなたには両者の中間に位置するキットのセルフビルドが現実的。「興味はあるけど仕事もあるし…。サラリーマンにできるの?」という疑問もごもつとも。ここでは論より証拠の、サラリーマンの成功例をご紹介します!

熱血

延べ30坪の永住用ログを完成させた!

サラリーマンの セルフビルド日誌

セルフビルドをやり遂げるのに必要なもの？ やる気と根気と 天気だね(笑)



てき間てきの居

2月の時点では右写真のような状態だったリビングが、4月に伺うと上のようにすっかり床も仕上がっており、いくつか家具まで運び込まれている。最初は反対だった奥さんもいまでは「最も信頼できるパートナー」。日誌をみてもわかるように、いろいろな作業に参加しているだけにご主人と共有する思いも多い。セルフビルドは夫婦の絆も深める効果があるようだ。



月日 曜日

田中さん 汗と涙の セルフビルド 全記録

- 95 7 6 木 ●地鎮祭を行う。山から竹を切り出し、見せ見まねでやったが、「南の位置が逆だ」と近所の大工さんに指摘された。
- 7 21 金 ●基礎の墨出し、リッチの関根、プレステジの広瀬、中村の各氏が立ち会う。丸根で工具類を購入。約11万円。
- 7 25 火 ●飯塚小屋の製作。丸根でパネル木材などを購入。約1万円。整地し、ブロックで基礎、土台、柱を立てる。
- 7 26 水 ●7時半より作業開始。暑さの中、10分作業しては20分休みの繰り返しのため、はかどらず苦勞する。
- 7 31 月 ●4時起床、7時半より作業開始。柱と横木を組み合わせ、小屋の枠組みが完成。
- 8 7 月 ●小屋づくり。垂木を打ち、タネロンを貼る。「じんぐうで勇児と打ち合せ」。
- 8 12 土 ●小屋づくり。パネル張り仕上げの取り付け。隣の斎藤さん一家と逢う。三十代の恋の良い一家。
- 8 17 火 ●小屋づくり。
- 8 23 水 ●基礎工事着手。かなり立派な基礎ができた。
- 8 29 火 ●基礎完成後のチェック。対角線は1ミリも狂っていないが、仕上げが雑である。
- 9 27 水 ●部材引き渡し。清水、岡本両氏が待機。人工手配にミス。午前中カミさんと4人で、あの重い棟木と母屋を2段階で降す。
- 9 28 木 ●部材移動。資材置き場より約2キロ移動。木材の重圧に耐えられる。自分には物置の扉造りに専念する。2日間飽きず泊まる。
- 9 29 金 ●物置の扉造り。今日は大工さんは休みなんで物置に専念する。



- 95 9 30 土 ●土台直し。親友の松ちゃん達は扉の仕上げをする。
- 10 1 日 ●組み上げ3段目まで。ニテネは清水、岡本両氏の持込み。屋根はボルクヒカクを注文。五ねきの炒めものを調理する。
- 10 7 土 ●いよいよ組み上げ開始。ニテネは自力で挑戦だが、木材の重さにびくびくりしたり、足場を外したりと、さんざんなスクラトとなる。
- 10 11 水 ●根太の取り付け。小屋根部分の組み上げをする。
- 10 16 月 ●部材密一陣が到着。4トントラックとクレールで午前中で終。ニテガスからハーブユニットが届く。
- 10 18 水 ●根太の穴あけ。「みやび」の大野さんが指導する。テラスの根太も取り付け。
- 10 21 土 ●足場造りと組み上げ。コンパネを5枚購入し、足場をつくる。ログは6段組む。
- 10 25 水 ●足場の台をつくる。腐材利用。90センチ角の割礼台の横もこの後一年に渡り非常に重宝した。
- 10 26 木 ●組み上げ。西側の部屋をメインに行う。扉はビルトインパーベキューで盛り上げる。
- 10 27 金 ●組み上げ。西側の部屋は1段まで完成。トイレと洗面所の窓の上までいくが、扉の部の納まりが難しくなった。
- 10 28 土 ●扉の納まりが難しくなった。真面目に悩まれた。扉の部の納まりが難しくなった。真面目に悩まれた。
- 11 1 水 ●屋根の梯子づくり。部屋への出入り用の梯子を、腐材を利用してつくる。インパクトドライバーの威力に感心する。
- 11 3 金 ●ログの梁入とその清境。早めに切り上げ、小屋造りが断つくり、とはいっても米を炊き卵をかけ、インスタント味噌汁で済ませます。
- 11 4 土 ●配管用の穴加工。この時期はコバルトブルーに染み込んだ大空と山々の紅葉とのコントラストが、実に鮮やかである。
- 11 11 土 ●ログメーカーのチェック。タロの大工探さんが来てくれた。松松コンビは組み上げに集中したが、松ちゃんの体調が悪いようだ。
- 11 12 日 ●薪割仕事。連日の疲れの影響が、朝から体が思うように動かず午後四時に撤収したが、夜熱が出て毛布2枚、布団2枚くらいで寝る。
- 11 13 月 ●開口部の修正。昨夜飲んだアルコールが効いたのか、朝の食欲も出てきたが、大勢と午後2時に撤収。夜道を記録してテオを見るため、今日記録するが、13段組みが行く。
- 11 18 土 ●組み上げ。昨夜遅く小屋造りに到着。即座となり結局2時過ぎに寝たため、今日記録するが、13段組みが行く。
- 11 22 水 ●組み上げ。昨夜九時半に雨に迎えに行き。母は「じんぐうでビル」とんがていい気持ちとなり、またまた足場を踏み外す。

悪戦苦闘の日々

ログを逆に積んだなんてイージーミスもあれば、材のねじれでうまくログが組み合わないなどの不測の事態もあったという。そういう意味では、ある程度のハプニングはセルフビルドにつきものと考えたほうがいい。右の写真は、田中さんが間違った長さで切ってしまったログ材を継いだ部分。おかげでこういう場合の臨機応変な対処法を、ひとつ身につけたことになる。左の写真は屋根工事時に使っていた手製の足場台。これに板を渡すことで作業がラクになったという。こんな創意工夫もまたセルフビルドに必要な素養のひとつだ。悪戦苦闘の日々のおかげで、すっかり現場に強くなった田中さんだ。



今回の登場いただく田中豊穂さんは、神奈川県城山町にお住まいの53歳。都内の百貨店に勤務する一般的なサラリーマンだ。

50歳過ぎの田中さんが若者顔負けのパワーで取り組んだセルフビルドには、仕事を持つサラリーマンがログハウスを自作するための数々のポイントが見え隠れする。そこで右の50ページから54ページにわたって、田中さん自身が綴った約140日間に及ぶ作業日誌を掲載した。そんな作業日誌から伝わる臨場感とともに、汗と涙のサラリーマン・セルフビルド顛末記をお届けしよう。

「セルフビルドに必要なもの？ そろだなぁ、やる気と根気と天気かな(笑)」

ちよつと余裕でそう語る田中さんは、この春に見事セルフビルド成功者の仲間入りをしたばかり。もちろん、それまでは本格的な大工仕事の経験もなく作業に関しては素人。ましてやサラリーマンとしての仕事との両立、一家の大黒柱としての責任など、クリアしなければならぬ問題は山積みだった。

田中さんのログハウスがあるのは山梨県白州町の小さな別荘地。敷地面積は70坪ほどで、地勢はおおむね平坦。中央高速を使えば自宅から別荘までドア・ツー・ドアで2時間とかならないアクセスのよさだ。

「なんと都合のいい場所」と思われる読者もいるかもしれないが、それもそのはず。実はこの土地の確保こそ、田中さんのセルフビルドプランのはじまりだったといっている。

「ログハウスづくりを思い立ったのは9年ほど前でしょうか。仕事とプライベートで悩んでいた時、たまたまログハウス雑誌を見ていて急にひらめいたのが、キットでのログハウス造りなんです。もともと自然が好きですが、然る中で暮らしたいところがあったので、

土地の確保からはじまったセルフビルドへの行動計画

セルフビルドに必要なもの？ そろだなぁ、やる気と根気と天気かな(笑)

ちよつと余裕でそう語る田中さんは、この春に見事セルフビルド成功者の仲間入りをしたばかり。もちろん、それまでは本格的な大工仕事の経験もなく作業に関しては素人。ましてやサラリーマンとしての仕事との両立、一家の大黒柱としての責任など、クリアしなければならぬ問題は山積みだった。

セルフビルドとなると、近くて通いやすい場所に小さくても平坦な土地が欲しい。作った家に永住することも考えれば、山ではなく暮らしやすい里のほうがいいです。ね」

こうして探し当てたのが白州の土地。と同時に必要だったのが家族の説得だ。セルフビルドという作業は、お金もかかれれば時間もかかるだけに、家族の理解もしくは協力なくしてはスムーズに進まない。田中さんは当初反対していた奥さんをログハウスの展示場見学へと連れ出し、「こういうことを始めようとしているのをおおむねよく説明した。おかげで、今では価値観もほとんど同じ」というほど頼りになるパートナーを得られたのである。



田中さんのログハウスは、延べ床面積約30坪ある永住仕様のマシンカットログハウス。

この角度で撮影しようとすると「ちよつと待って」と田中さんが階に上がり、ロフト壁と接する天井の角に早く、回り縁をつけた。早業であった。

時間と経費の節約で実現したローコスト・セルフビルド

田中さんのログハウスは、延べ床面積約30坪ある永住仕様のマシンカットログハウス。



下の写真と比べてもらえば一目瞭然！ 下の2月時点では床板も階段の手すりもなかった。吹き抜け部分も、4月には見事に完成。明るく仕上がっている。

内装作業はほとんどひとりで進めた田中さんだが、内装作業でいちばん苦労したのがこの「吹き抜け部分の天井張り」だ。階下までかなりの高さがあるだけに、確かにコウソウ



内装作業はほとんどひとりで進めた田中さんだが、内装作業でいちばん苦労したのがこの「吹き抜け部分の天井張り」だ。階下までかなりの高さがあるだけに、確かにコウソウ

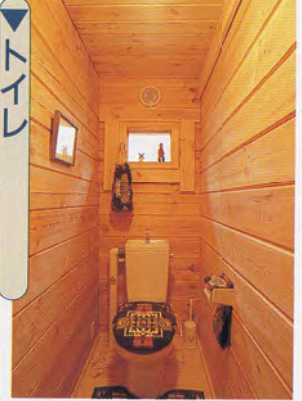
- 95 11・28日 ● 組み上げと根本付け。初めて小倉津さんが参加するが、とても積極的にヘルプ。壁面の通し柱を本セットする。
- 12・8日 ● 根本の取付けと組み上げ。壁裏の中、根本を間と長壁を六本組み上げる。9ミリのコンパネを40枚購入。計四万五千円。
- 12・15日 ● 2階の足場づくり。コンパネ40枚を使い、2階の足場に敷き込み、さらに養生シートを張りタッカーで留める。
- 12・23日 ● 組み上げとテラス張り。16段目の短切壁を本と支間の小屋組みをするが、TとVを壁にセットして配線用の穴が分断してしまっていた。
- 12・27日 ● 吹き抜け部分の足場づくり。一日計の状況が、根元やんごんごん。今日は非常に寒くマイナス5度となる。夜は根元やんごんごん。テラス板を全部貼り終える。
- 12・28日 ● テラス張り。午前中は雪のためグラグラと通すが、午後降り止み、テラス板を全部貼り終える。
- 98 1・5日 ● テラス回りの加工。テラスの束を立て、手すりを乗せる。支間前の束はログを4段階み上げ、ボルトを通し強度を高める加工をする。束を加工して羽子板の裏面に固定する。
- 1・10日 ● テラスと基礎の固定。独立基礎の寸法が10センチずれており、根本の束を加工して羽子板の裏面に固定する。
- 1・13日 ● 部材の移動と組み上げ。斜めの部材を本さんに一部占拠していた部材を移動し、長尺を本セットするが、ねじれがひどく苦痛する。
- 1・14日 ● 組み上げ。昨日セットした箇所の手すりがつまらぬ。断念。昼は「じんごん」で、ビルどとんかつで乾杯。
- 1・17日 ● よじれたログの修正加工。よじれた箇所をカットし、予備材の薄切りにかなりの時間を要したが、小倉津さんが頑張ってくれた。
- 1・23日 ● 組み上げ。17、18段を納めるがよじれがひどく、片方をクラブで固定してチェーンブロックで引っ張り、ダボ穴を5カ所あける。
- 1・24日 ● 組み上げ。今日も日降りで行く。10本以上あげて仕上げる。雷鳴じりの悪条件の中であつたが、5時過ぎに撤収する。
- 1・26日 ● 組み上げ。22段まで順調に整々と納める。4日の内3日、日帰りのため右腕全体が痛む。
- 1・30日 ● 片づけ。4時起床。壁より雪が降り出したため、掃除中の水がウラとなる。カゲヤカナイチを使うと右腕、右手が痛む。
- 2・1日 ● 水。組み上げ。24段まで納め、後は出雲を待つばかりとなる。妻腰の垂直面をとるが夜間、前かいに顔面を撞きつけて涙が止まらなくなる。

仕上げは上々

田中さんから選んだログハウスキットは、㈱TALOインターナショナルの「LO-4A」。永住仕様として人気のモデルだけに、将来の移住を考えている田中さんには最適。ゆくゆくは白州7割、自宅3割くらいの比率で二重生活を楽しまたいとか。きれいに仕上がった生活設備の中では「お風呂のセtring対策がちょっとむずかしかった」という



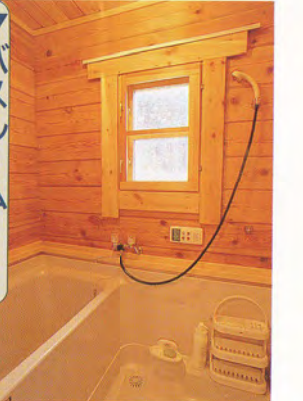
キッチン



トイレ



洗面所



バスルーム



建物内の配線は電気工事の資格を持つ義兄にやってもらった田中さんだが、思いがけずギクシャクしたのが電気の引き込み。電気の引き込みはその地域の電力会社の指定業者しかできないことを後で知ったからだ。引き込みだけしてくれる指定業者を探すのに苦労したという



上の写真（ロフト部分）を撮影しようとする「ちょっと待って」とまたまた登場した田中さん、今度はディスクサンダーで余分なボルトを切断し始めた。1年10カ月にもわたるログハウス造りは、田中さんを素人からセルフビルダーへ変えたようだ

キットのタイプは、㈱TALOインターナショナルの「LO-4A」というフィンランドパインを使った、2階建ての角ログモデルだ。しかも、田中さんは標準の95mm厚よりやや太い120mm厚の角ログサイズを選んでる。これだけ本格的なログハウスをセルフビルドするにはそれなりの時間がかかる。田中さんの場合、自宅と現場のアクセスがよかつたとはいえ、年間100日以上というハイペースで現場作業をこなしているのは驚きだ。「とにかく休日という休日はほとんど全部つき込みました。有給休暇はさほど使わなくても代休とかでけっこう休めたので、そういう意味では恵まれていたのかも」

より時間を有効に使うため、ひとりの時は早朝に家を出て、朝の8時から夜の8時か9時頃までぶつとおして作業することも。また最初の頃は資材用の物置に泊まったりして往復する時間をなくす努力もしている。

また、セルフビルドをローコストで実現するためには小さな経費の積み重ねが案外バカ

にならないが、この点でも田中さんは、なるべく一般国道を走り、食事も自炊か弁当というふうにして小さな出費を抑えている。

当然、工事のほうでも基礎と給排水と電気極力、自分たちでやってしまった。

ログの積み上げは最初3段を大工さんに頼んだものの、それ以降は仲間を頼んで、基本的に手製の足場と人力で十分進めることができたという。さすがに2階の建具の上の長いログや母屋と棟木は手に負えず、これを載せる時にクレーンを手配したが、これも2日かかるところを事前に断熱テープとダボを仕込んでおくなどの完璧な準備をして、1日で終わらせたというから実に効率的だ。

その勢いでこなしたのが屋根工事だ。「うちの場合、勾配が10分の7で人が作業できるギリギリの傾斜。そういうところに長い時間いるとアキレス腱が痛くなってくるんです。途中から手製の足場を作ってからはラクになったものの、命綱をつけて重い防水シートや天窓を担いで登るのはしんどかった。アスファルトシングルも約1000枚もあって屋根を葺くのに2週間もかかりました」

作業日誌でもその苦労がわかるが、この苦

- 21日 水 ● 組み上げ。疲れのため休むもまたたが、また来てしまった。25段を組んだが暴れがひどく、クレーンでなんとかクリアする
- 22日 木 ● ログの整理。28日は重機が入るため、基礎部分のログを15本上げる。飯タボを打ち、断熱テープを貼って備える
- 23日 金 ● 雪下ろし。2日間の雪で2階の床にかなりの積雪。半日作業とす。午後は母屋の加工と穴あけ等の作業
- 24日 土 ● 母屋の加工。ボルト穴が間違っていたため、急遽27ミリのロングピットを購入。ボルト締めをする
- 25日 日 ● 母屋の加工。ボルト穴が間違っていたため、急遽27ミリのロングピットを購入。ボルト締めをする
- 26日 月 ● 母屋の加工。ボルト穴が間違っていたため、急遽27ミリのロングピットを購入。ボルト締めをする
- 27日 火 ● 母屋の加工。ボルト穴が間違っていたため、急遽27ミリのロングピットを購入。ボルト締めをする
- 28日 水 ● 母屋の加工。ボルト穴が間違っていたため、急遽27ミリのロングピットを購入。ボルト締めをする
- 29日 木 ● 母屋の加工。ボルト穴が間違っていたため、急遽27ミリのロングピットを購入。ボルト締めをする
- 30日 金 ● 母屋の加工。ボルト穴が間違っていたため、急遽27ミリのロングピットを購入。ボルト締めをする
- 31日 土 ● 母屋の加工。ボルト穴が間違っていたため、急遽27ミリのロングピットを購入。ボルト締めをする
- 1日 日 ● 母屋の加工。ボルト穴が間違っていたため、急遽27ミリのロングピットを購入。ボルト締めをする
- 2日 月 ● 母屋の加工。ボルト穴が間違っていたため、急遽27ミリのロングピットを購入。ボルト締めをする
- 3日 火 ● 母屋の加工。ボルト穴が間違っていたため、急遽27ミリのロングピットを購入。ボルト締めをする
- 4日 水 ● 母屋の加工。ボルト穴が間違っていたため、急遽27ミリのロングピットを購入。ボルト締めをする
- 5日 木 ● 母屋の加工。ボルト穴が間違っていたため、急遽27ミリのロングピットを購入。ボルト締めをする
- 6日 金 ● 母屋の加工。ボルト穴が間違っていたため、急遽27ミリのロングピットを購入。ボルト締めをする
- 7日 土 ● 母屋の加工。ボルト穴が間違っていたため、急遽27ミリのロングピットを購入。ボルト締めをする
- 8日 日 ● 母屋の加工。ボルト穴が間違っていたため、急遽27ミリのロングピットを購入。ボルト締めをする
- 9日 月 ● 母屋の加工。ボルト穴が間違っていたため、急遽27ミリのロングピットを購入。ボルト締めをする
- 10日 火 ● 母屋の加工。ボルト穴が間違っていたため、急遽27ミリのロングピットを購入。ボルト締めをする
- 11日 水 ● 母屋の加工。ボルト穴が間違っていたため、急遽27ミリのロングピットを購入。ボルト締めをする
- 12日 木 ● 母屋の加工。ボルト穴が間違っていたため、急遽27ミリのロングピットを購入。ボルト締めをする
- 13日 金 ● 母屋の加工。ボルト穴が間違っていたため、急遽27ミリのロングピットを購入。ボルト締めをする
- 14日 土 ● 母屋の加工。ボルト穴が間違っていたため、急遽27ミリのロングピットを購入。ボルト締めをする
- 15日 日 ● 母屋の加工。ボルト穴が間違っていたため、急遽27ミリのロングピットを購入。ボルト締めをする
- 16日 月 ● 母屋の加工。ボルト穴が間違っていたため、急遽27ミリのロングピットを購入。ボルト締めをする
- 17日 火 ● 母屋の加工。ボルト穴が間違っていたため、急遽27ミリのロングピットを購入。ボルト締めをする
- 18日 水 ● 母屋の加工。ボルト穴が間違っていたため、急遽27ミリのロングピットを購入。ボルト締めをする
- 19日 木 ● 母屋の加工。ボルト穴が間違っていたため、急遽27ミリのロングピットを購入。ボルト締めをする
- 20日 金 ● 母屋の加工。ボルト穴が間違っていたため、急遽27ミリのロングピットを購入。ボルト締めをする
- 21日 土 ● 母屋の加工。ボルト穴が間違っていたため、急遽27ミリのロングピットを購入。ボルト締めをする
- 22日 日 ● 母屋の加工。ボルト穴が間違っていたため、急遽27ミリのロングピットを購入。ボルト締めをする
- 23日 月 ● 母屋の加工。ボルト穴が間違っていたため、急遽27ミリのロングピットを購入。ボルト締めをする
- 24日 火 ● 母屋の加工。ボルト穴が間違っていたため、急遽27ミリのロングピットを購入。ボルト締めをする
- 25日 水 ● 母屋の加工。ボルト穴が間違っていたため、急遽27ミリのロングピットを購入。ボルト締めをする
- 26日 木 ● 母屋の加工。ボルト穴が間違っていたため、急遽27ミリのロングピットを購入。ボルト締めをする
- 27日 金 ● 母屋の加工。ボルト穴が間違っていたため、急遽27ミリのロングピットを購入。ボルト締めをする
- 28日 土 ● 母屋の加工。ボルト穴が間違っていたため、急遽27ミリのロングピットを購入。ボルト締めをする
- 29日 日 ● 母屋の加工。ボルト穴が間違っていたため、急遽27ミリのロングピットを購入。ボルト締めをする
- 30日 月 ● 母屋の加工。ボルト穴が間違っていたため、急遽27ミリのロングピットを購入。ボルト締めをする
- 31日 火 ● 母屋の加工。ボルト穴が間違っていたため、急遽27ミリのロングピットを購入。ボルト締めをする

施工マニュアルだけで わからない部分は、 何度もメーカーに 電話して聞きました。

- 6・3月 ルーフイング貼り、小屋根部分を貼り、全貴を付けるが、網線と埋埋
ママは外壁の塗装を楽しくやっている。
- 6・6木 屋根足場の組み立て、余りパイプで屋根の通風を組むが、適当なサ
イスがなく苦労して完成。屋根材のストロークを貼る。
- 6・7金 屋根材貼り。日の出と共にママに起き、6時より作業開始。彼女は
専ら塗装専門。オレは一日中シングル貼り。足腰が痛い。彼女は
- 6・12水 屋根材貼り。高圧水で軽トラを借り冷感車を搬入。50枚貼。早めに
撤収。得意げな様子で大歓迎され、帰宅は12時過ぎとなる。
- 6・14金 屋根材貼り。雨止りのため、気が乗りに切らず50枚しか貼れず、
近所のハイパー園へ行ったが、見直しがあった。
- 6・18火 屋根材貼り。午前中雨のためバスユニットをセットし、昼過ぎ雨上
がりの中、45枚貼ったところで土砂降りとなり撤収。
- 6・19水 屋根材貼り。天窓との取り合いが面倒であったが、2台共終える。
温度が上がリシングルが体重で溶け出し、作業がしづらい。
- 6・23日 屋根材貼り。勇さんは配線専門。巻線と熱帯と貼り続け、6時過ぎ
にノルマの100枚を突破し撤収。巻線のリクエストで回馬新司。
- 6・28金 ルーフイングの補修と屋根材貼り。西側のルーフイングが大きく波
打っているため、ダブル貼りとする。5時より東側40枚貼る。
- 7・2火 屋根材貼り。混みわたったきれいな音の鳴き声を聞きながら順調に
作業が進み、今ココまで160枚貼り上げる。
- 7・11木 屋根材貼り。昼間着替えて市川大門へ青柳の高級式に参加。野辺お
くりが昔の映画を見ている様だった。午後5時過ぎ95枚貼る。
- 7・15月 屋根材貼り。ひたす貼り続け166枚。暑さのためやりやすかつ
た。帰りはガキ大将の味噌ラーメンに満足。
- 7・20土 屋根材貼り。雨止りのため、屋根と室内を交互に行き来して50枚
2階の間仕切りの依頼をつくりながら苦勞してはめた。
- 7・24水 屋根材貼り。屋根のトップ部分を貼り終える。昼過ぎに金物を取り
付けた。童子のランド。温泉汁を流し、1人寂しく寝る。
- 7・25木 建具の搬入、ロフトの窓を2カ所取り付け、物置に保管してある建
具を全て室内に搬入する。小屋根側のシングル貼りを終える。
- 8・15月 建具の取り付け。昨夜1時過ぎに帰る。朝4時起きのため眠い。峡
北資料より断熱材が届く。小屋根の屋根材は貼り終える。
- 8・10土 断熱材の固定、三ちゃん断熱材を専門にセット。オレは建具と網
線の固定をする。窓の周辺を大きなハチがブンブン飛んでいる。
- 8・15木 網線の固定。洗滌のため昼過ぎに大野さんが来る。建具と網線のセ
ットを集中的に行う。帰途ガキ大将でビールとラーメン。
- 8・24土 建具と網線のセット。隣の高級。天窓とスリに会い、借用して
いたラジヲを返却する。パティオドアのセットに成功する。
- 8・27火 断熱材のセット。雨の中網線の固定作業。2人は断熱材担当。ビー
ルの差し入れを載せ小艇船で1泊。
- 8・28水 バスユニットの固定。今日も雨。昼過ぎ決死覚悟到着。またまた
ビールの差し入れを載せ、魚光で6人セットメニールとビール。
- 8・29木 屋根足場の撤去。午前中雨。午後3時過ぎメニールとビール。
アの撤去も完了。今夜はここで1泊。
- 8・30金 パイプの整理と塗装。塗装はママがやり、オレはパイプの撤去と整
理をするが、後半は雨。土砂降りとなりながら完了する。
- 9・4水 建具と網線のセット。外に放置してあった内装材を1年ぶりに室内
へ格納する。テラスの扉が相変わらずすずすず音が響く。苦勞する。
- 9・6日 網線のカットとサンダーがけ。室内側の網線のため、丁寧に敷くが
結構手間がかかる。
- 9・10火 建具の調整とコンパネをはがし。ロフトのコンパネを巻線が全てはが
す。8時に撤収しラーメン屋で会話する。
- 9・16月 防湿フィルム貼り。ロフトの個室2部屋をフィルムを貼り、天井と
地材を打ちつける。9時過ぎ現場を踏み外し背中がミスはれ。
- 9・20土 空気孔の加工。面戸板に空気孔の穴をカ所つあける。吹抜け
部分のフィルムを貼って地材を打ちつける。
- 9・24火 4日間の連休初日。準備に手間取り、午前5時過ぎ4時に現地到着
ほとんど作業せずに寝る。
- 9・25水 天井材の取り付け。吹抜け部分の加工とフィルムを張り、
垂木に下地材を付ける。白洲町の福祉館の温泉。湯かりに行き、
- 9・26木 天井材の取り付け。2階の右の部屋と下の部屋の天井材を貼り始め
る。深夜。満月の月明かりの素敵を夜で、ガキの頭を思い出す。



余った材料で図面も引かず丸一日程度で作った椅子。座り心地もなかなかいい

家一軒作ると、もう何でもできちゃおう気がしますよ(笑)

家が家への愛着を深めたことも確かだ。マニュアルどおりには進まないけれど、それもいい思い出

作業についての資料はマニュアル一本で済ませ、それでも不明な部分は電話で何度も質

問して自分なりに理解してから進めたという。「失敗はいっぱいありますよ(笑)。壁組の時1本だけログを逆方向に積んで、電気配線用の穴がつまってしまっただけです。仕方なく壁伝いにしてなんとかしましたか」。他にも、ログ材のアバレがひどくて入らな

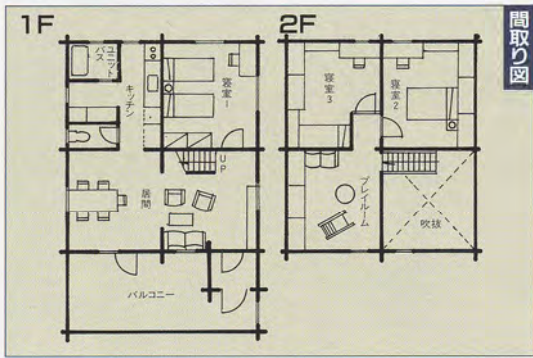
かったり、加工ミスに気づかずログを間違った長さで切ってしまったりと、現実にはマニュアルどおり進むとは限らないのだが、そんな時になんとかしてしまふ臨機応変こそ大事なのだ。「ここが失敗した箇所」「あれが曲がっていた材」と次

次と説明してくれる田中さんを見ると、苦労や失敗すらいい思い出に変えてしまうセルフビルドの魅力を感じずにはいられない。「家一軒つくと、もう何でもできる気がしますね。もう一軒と思うから不思議(笑)」600万円のキットを購入して始まった1年10カ月のセルフビルドは、総工費約1200万円です。無事終了。いまでは、あこがれの自然暮らしを楽しむ時間がこのログハウスを中心にすでに始まっている。

デッキの下の畑(写真左下部分)は奥さんが作りはじめた家庭菜園。いよいよあこがれの自然暮らしがスタート



左は田中さんが使った道具。中でも思い切った出番は、掛け矢とチェーンブロック



手前にあるガラステーブルの足は、余ったログ材。ガラスは会社で不要になったものをもらってきた



- 96 9・27金 ●天板材の取り付け。キッチンと天井を全面貼り終える。周りの雪山と紅葉ははじめた中で、真っ赤な花をつけたアジサイが印象的
- 10 4金 ●フレイルームの天井と床貼り。昼過ぎに奥庭まで水浴びに出る。冷いながら1時間散歩。可憐な野の花が群生していた。町で浄化槽の補助金が出るの話を、後場へ相談する
- 10 9水 ●合併槽の設置。中山設備さんが浄化槽の埋めをして、町で浄化槽の補助金が出るの話を、後場へ相談する
- 10 18木 ●配管の手直し。元気が手直ししている間、改築は掛ける天井貼り
- 10 21月 ●証明もついで、合併槽申請書に地元証明が3カ所必要とのことで、朝、異、夕、夜も出陣して頂上。今日の作業は天板材の一枚のみ
- 10 23水 ●設備の打ち合わせ。給排水とガスの打合せをする。断熱材を1部屋はめ込む
- 10 29火 ●床貼りの床を貼るが、意外と簡単に作業が進む。昼は午ヶ淵まで紅葉を見に行く。午後は部材をトラックに上げる。中山設備さんが来ていたが、キッチン腰で辛そうであった
- 11 3日 ●中庭家へ手直し。長門町の現場へ午前中に訪問。一家総出で屋根貼り中。天窓の取り付けをし、時戻退却する
- 11 4月 ●間仕切り壁の設置。化粧板がかなり汚れており、サンダーがけ、トイレの扉をセット。三連休の最終日とあって帰りは大渋滞。5時間
- 11 8金 ●間仕切り壁の設置。トイレのたてつけを直し、天井の配線用穴を、キッチン開口部の化粧板をセット
- 11 11月 ●天井貼り。キッチン部分の貼り終える。中山設備さんと打ち合わせ。浄化槽工事は年内にやりたいとのこと。帰りに焼きビーフン
- 11 18月 ●部材搬入。システムキッチン、給湯機、風呂のドアが入る。配線コードと天井戸棚をセットし、ひと安心
- 11 20水 ●風呂戸の取り付け。結露防止で取まの間に時間がかかる。午後仮設して風呂の床材を貼るが、10枚強して撤収する
- 11 24日 ●大失敗。なんと2階のフロアが何十センチ下り、温か出たりガクガクとする。西壁と間に誘われ、食を、壁をたどり、温か出たりガクガクとする。西壁と間に誘われ、食を、壁をたどり、温か出たりガクガクとする
- 11 28木 ●部材整理。東側の部材を手洗い、壁をたどり、温か出たりガクガクとする。西壁と間に誘われ、食を、壁をたどり、温か出たりガクガクとする
- 12 3火 ●間仕切り壁。風呂場の間仕切り断熱材を貼る。壁をたどり、温か出たりガクガクとする
- 12 4水 ●間仕切り壁。風呂場の間仕切り断熱材を貼る。壁をたどり、温か出たりガクガクとする
- 12 10火 ●争たい弁当。今日は大勢ヘルプが来てくれたにもかかわらず、なぜかセブンイレブンの凍った様々ない弁当をママに食わされた
- 12 20木 ●ガス工事完了。レンジが使用可となる。トイレと風呂場のダクト用の穴をドリルで開ける。ママが体調が悪く早めに帰る
- 12 25水 ●床材貼り。2階寝室のフロア材を全て貼る。養生手は手伝わすせが卒業状ついでに沼津。帰りは美味しい焼きビーフン
- 12 27金 ●合併槽の埋め込み。寒い中、中山設備さんが作業をしていた。焚火用のドラム缶を断熱材に買い替えた
- 1 8水 ●床材貼り。小泉さんに手伝ってもらい、断熱材やフォーム、床材を貼る。早めに切り上げてステップを物色したが売り切れ
- 1 10金 ●室内設備の設置。中山設備さんが給排水設備のセットをする。2階寝室の扉を取り付けたがうまく取まらず
- 1 11土 ●床材貼り。10時頃奥さんが到着。外部コンセントを換装。おれは1階の床材を貼る。5時に一人でスパイオに行き、温泉に浸かる
- 1 12日 ●床材貼り。1階居間の床材を貼る。足跡を踏み外してお尻を痛打。断熱材が不足してタマ材を20本外してお尻を痛打
- 1 13月 ●トレンチ工事。居間を整理しコンパネで養生。3時までに外で砂利を敷き詰め、曲がったパイプを修正しながら盛土で覆う

4月上旬 内装工事が完了。完成

※家の中が汚れて、ダイニング用の家具運りやを間までのフロア口チーフリ、家庭菜園用の通風作業。再塗装など、1ヶ月くらいかかる。心優しい作業はまだ続く...